

# 04 春闘推進ニュース

全労連ニュース速報

NO.800

2004/06/01(夕刊)

全国労働組合総連合

TEL:03-5842-5611

FAX:03-5842-5620

**許すな！ 雇用・賃金・年金破壊 守ろう！ 平和と憲法**

## 6・2 全国統一行動を粘り強くたたかい、年金改悪法案は廃案に 与党は数の力で3日委員会・4日本会議採決ねらう

与党は、本日の厚生労働委員会理事会（委員会終了後）で、野党が要求した「中央公聴会開催」を退け、与党が提案していた2日午後の「参考人質疑開催」も引っ込めて、3日に総理出席で総括質疑を行なったうえで、委員会で採決を強行し4日には本会議で成立させることをねらっています。

法案内容の問題点の審議も不十分のまま、また未加入・未納閣僚の辞任や自民党の国会議員の納入状況も隠し通して、85年改正以降4回とも中央公聴会を開催してきたこともかなぐり捨て、採決を強行しようとしています。年金法案の内容も、審議の進め方を見ても国民主権と議会制民主主義も踏みにじるものです。

このように、国民世論は「今回成立させるべきではない」が圧倒的であるにもかかわらず、数の力でごり押しするという前代未聞の審議の結末が予測されます。怒りの声を地域から大きく上げて行きましょう。6・2全国統一行動は、早朝宣伝や終日宣伝カーの運行、昼デモや集会、職場からのFAX・打電などの創意ある行動が全国で取り組まれています。全力で廃案の声を最後まで広げて行きましょう。

### 2日の中央行動・国会行動

早朝宣伝行動	東京駅八重洲北口	新宿駅西口	8:00～9:00
国会座り込み行動	参議院議員会館前		12:00～15:00
中央決起集会	日比谷野外音楽堂	18:30～集会	19:20～国会請願デモ
有事関連特別委員会傍聴	13:00～18:00	集合は12:30	参議院議面

### 厚生労働委員会審議報告

6月1日 参議院厚生労働委員会が開催され、年金法案の審議がおこなわれました。民主党柳田議員が坂口厚生労働に対して「大臣は今でも100年安心の年金制度だと思っているのか」と質し、「保険料未納議員議員が『制度が複雑で未納になってしまった』』と言い訳している。国民年金の未納で、1兆円近くの穴があいている。500億円近く積立金より繰り入れている。未納大臣が年金保険料の値上げを提案する資格はない」と厳しく糾弾しました。また、柳田議員は、国民年金支給額についても厚生労働省に質問。現在年金支給額6万6千円の受給者が、85歳になった時点の受給額は、5万8千円（平成16年度価格）になることが明らかに。生活していけない年金額に「将来

の安心のためには、**25** 年も保険料をかけつづけ、生活していけない年金しか給付されない制度ではなく、すべての国民に年金を保障する最低保障年金の制度が必要だ」とのべました。

また、日本共産党井上議員は谷畑厚生労働副大臣が偽装牛肉の問題で検挙された阪南という企業から、選挙区の大阪府連副会長として、政治献金を受けていた問題を追及。協同組合法にも違反して、支援を受けつづけていたと厳しく追及しました。井上議員は前回改定で賃金スライドが凍結されたことによる影響と、物価が賃金を上回る上昇を示した場合について質問。実際、現役世代との格差が広がる年金給付に「基礎年金にも、適用される切り下げになるのは、憲法 **25** 条にも反する。年金給付が地域経済に与える影響は大きい。家計を暖め、消費を保障することこそ、経済を下支えする」と指摘しました。

## 栃木 国井厚生労働委員長の地元事務所へ要請

年金改悪法案の重要局面を迎え、参議院厚生労働委員長の国井正幸議員の選出地である栃木県で、遅まきながら 31 日、地元事務所への要請行動を行いました。

要請行動は、県労連が各団体に呼びかけ、急きょ行ったもので、年金者組合、全教、新婦人などが参加しました。「今のままでは希代の悪法を通した議員として、名を残すことになる。地元の有権者としては、政党支持の違いはあってもそのような議員を栃木から出したとすることにしたくない。ぜひ、廃案に」と訴えました。対応した地元の秘書は、明言は避けながらも、地元の声を無視できない様子で、苦虫をかみつぶしたような顔で、「今日は、公聴会も行われている。会期も延長される可能性がある」「議員には、この要請書をすぐにファックスして送り、伝えます」との返事でした。引き続き取り組みが必要と痛感しました。栃木県労連（武藤）

## 日高教が年金改悪法案・有事県連法案の廃案などを求めて行動

全国高校組織懇談会は、**6 月 1 日**、年金改悪法案ならびに有事関連法案の廃案、教育基本法の改悪反対、ゆきとどいた教育の実現を求めて、所属組織の違いをこえた一致する要求での中央行動を実施し、全国 36 の高校組織から 150 名が参加しました。

星陵会館で意思統一集会をひらき、私たちのたたかいで情勢をきりひらきつつあることを確認しました。「黄色いハンカチ」に職場の怒りを結集し、道庁包囲行動を準備している北海道からの発言、憲法を守る県民過半数の署名にとりくむ長野の報告をはじめ、横浜市、福井、大阪、香川からとりくみが報告されたたたかいに確信を深めました。

午後からは、全参議院議員に対して「年金改悪法案ならびに有事関連法案の廃案」を求める国会議員要請行動、高校教育の充実を求めて衆参文教委員への議員要請行動、そして国会前すわりこみ行動を展開しました。

また、文科省・人事院と交渉するとともに、小泉首相に対して「憲法改悪反対、9 条を守り、平和のために生かすこと、イラクからの自衛隊の即時撤退」を強く求めました。

## 参議院厚生労働委員会 横浜地方公聴会 報告

2004年5月31日 新横浜プリンスホテルにおいて行われた。国井委員長の挨拶で開始。

### 「神代(横浜国大名誉教授)」

少子高齢化、100年可能なスウェーデン方式の良い点をとったもの。持続可能で最高限度を保障し、マクロ経済スライドを取り入れ、世代間の扶養と公平、給付に対する負担の考え方を変えた。今の給付を維持すれば負担は**25.9%**になり、逆に負担を維持すれば給付は**40%**下がり、憲法**29**条の財産権に抵触などと政府案を礼賛

### 「広瀬(社会保険労務士)」

中小零細企業の相談など実務者して、改正と言うがどこまで複雑にするのか。一般の人は理解できない。例をあげると、**5/30**退職し、**6/1**めでたく再就職できた人、この人は**1**カ月の未納になる。この間に普通は手続きをしない。

**100**年持続との宣言は度胸がよい。誰も責任を取れない、生きていない。違和感がある。未納問題が出ている。徴収はポーズ。いままで何度もチャンスはあった、何をしていたのか。厚生年金の適用事業所が減っている。健康保険には入るが、年金は未加入が多い。調査し明らかにしてほしい。などと批判。

### 「鈴木(会社役員・保険委員)」

企業の立場、社会保険委員の立場でと前置きし、自分の企業の内容紹介。この実情の中、保険料の引き上げは雇用に影響し、競争力低下を招く。人件費調整も出てくる、現行を上回らないものにせよ。歯止めをかけ、経済の動向で引き上げられない措置をとれ。空洞化は深刻、**40%**が未納、全国共通の基礎年金は税方式が必要。税制の改革も含め、国民に開かれた場が必要だ。**1/2**引き上げは大きな前進、改善策があつて良い。

特別法人税を無くせ。

社会保険委員は**10**人以上の会社におり、行政と連携している。複雑な制度の運用に説明会など開いて努力している。地位の向上を考えよ。

### 「岡本(神奈川労連副議長)」

労働者の立場として、空洞化問題を取り上げ、神奈川における実態は厚生年金で**200**万人以上いる対象のうち**130**数万人しか加入していない。国民年金は免除率を差し引けば**52.7%**、半分近い人が未納。更に年を追うごとに正規労働者が非正規労働者に置き換えられている実態が**92**年は正規率**70.2%**、**97**年は**69%**、**02**年は**61.8%**と確実に減少している。この問題はなにも議論されていない。更に、保険料や給付額を固定するとしているが、このことが正しくないことが明らかになってきている。正確な情報を知らせないのは許せない。この問題で固定ではないことが明確になった**5/20**に自民党のビラはまだ保険料をこれ以上引き上げませんと、うその情報をまきちらしている。多くの国民が望んでいるように白紙に戻して議論をやり直せ、

### 「和木田(厚木社会保険事務所長)」

事務所での多忙な実態と、対応する職員の数の少なさを訴え、これが国民の待ち時間になっている。と訴えた。

### 「国広(武蔵大学教授)」

国会議員さえ気がつかない制度の問題として考えること。国民年金、被用者年金の**2**本立ては不

自然、安定した年金制度をいう以上、全て国民年金とするのが良い。現在の制度では空洞化は当然でてくる、設計の限界だ、むりがある。根本的な転換が必要、一元化を所得比例で行うのが良い。本格的な論議を望む。女性年金は積み残し、論じられていないのは残念。3号は高所得の大企業優遇制度だ。パートの年金適用の論議が必要。所得比例で一元化が良いが、それまでにやらなければならないことが沢山ある。

<感想(年金者組合 田島書記長)> 政府案賛成は1人、いろいろな問題に答えていない。特に空洞化は益々厳しくなる。深刻な実態があるのに通すのかの運動を強化することが求められている。<会場外の活動>新横浜駅前での宣伝。駅側の妨害あり。会場前での宣伝 警備と若干もめた。配布したビラは好評。マスコミも読み、議員もうけとっていた。

### 単産・地方組織の6・2全国統一行動の計画から その3

- ◆ 神奈川＝朝と夕方に駅頭宣伝 50 箇所。昼間は繁華街宣伝。横浜は昼デモ。県内選出参議院議員 13 人と自民・公明・首相官邸に対する FAX 要請。13 人の選出議員の自宅訪問・要請。国会行動には 100 人、中央決起集会には 500 人。
- ◆ 千葉＝県下 25 箇所 200 人で 2 日に署名宣伝行動。昼は千葉駅前宣伝行動。3 日は昼に千葉駅～県庁まで練り歩き。4 日は千葉駅前宣伝行動。
- ◆ 岩手＝2 日は 2 箇所で夕方宣伝行動。職場から全政党・参議院厚生労働委員への要請の呼びかけを 25 日に発した。2 日には県内にある政党・参議院議員・候補者への要請。宣伝カーによる流し宣伝(毎週水・木・金の運行)
- ◆ 福島＝昼デモ、終日宣伝行動、参議院の地元選出国會議員地元事務所訪問。
- ◆ 東京＝朝宣伝。年金連絡会で昼宣伝。都内宣伝。
- ◆ 栃木＝年金者組合が宣伝行動。国井厚生労働委員長栃木地元事務所を要請・訪問。
- ◆ 群馬＝全 12 地域で駅頭宣伝などを実施する。
- ◆ 新潟＝7 台の宣伝カーの運行。有事で FAX 要請。
- ◆ 長野＝全県で宣伝行動。10 箇所。長野昼宣伝・署名行動。
- ◆ 岐阜＝3 日夕方宣伝行動。4 日は社保協が宣伝。
- ◆ 大阪＝府下全域で宣伝行動。1 箇所で集会とデモ。
- ◆ 兵庫＝年金者組合座り込み行動。街頭宣伝行動。地元国會議員要請行動。尼崎 2 時間の宣伝。
- ◆ 和歌山＝昼宣伝行動。4 日は昼デモ。
- ◆ 島根＝各政党要請。官房長官への要請。終日宣伝行動。社会保険事務所への要請。
- ◆ 広島＝昼宣伝行動。自民・公明に抗議要請。3 日は街頭宣伝行動。
- ◆ 愛媛＝1 日の夕方に集会とデモ。200 人。
- ◆ 香川＝組合員の 20%が自民・公明に抗議の FAX を入れる。
- ◆ 高知＝朝宣伝、昼市役所前集会・デモ。
- ◆ 佐賀＝3 日に宣伝・署名行動。佐賀市で中心街宣伝。
- ◆ 熊本＝辛島公園で 6 時から集会・デモ。300 人規模。
- ◆ 沖縄＝県庁前で宣伝行動を実施する。